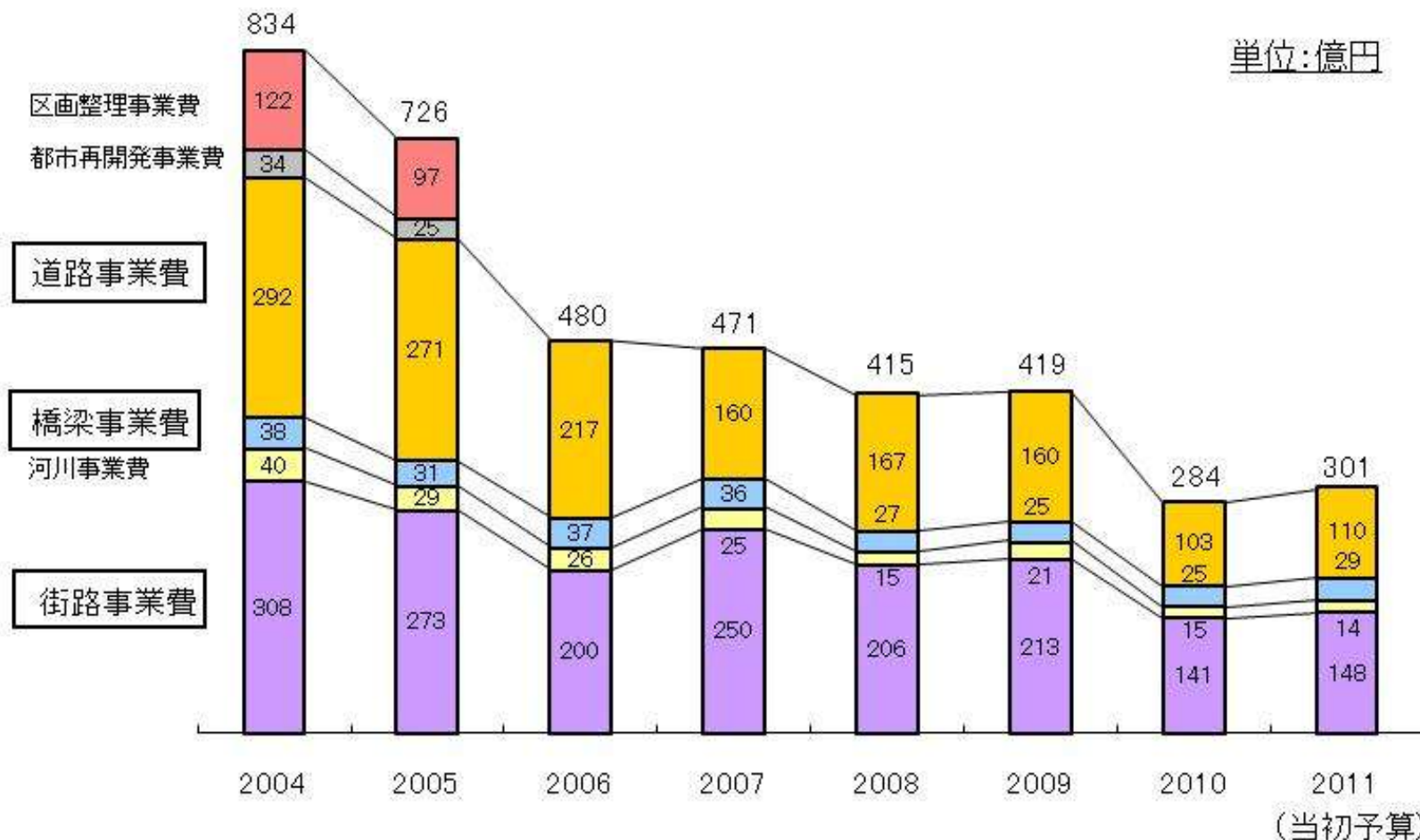


事業費の推移

①建設局事業費(決算額)の推移

市の財政状況が厳しくなる中、2011(H23)年度予算で道路事業費は292億円、橋梁事業費は38億円、街路事業費は146億円であり、2004(H16)年度決算と比較すると、それぞれ約38%、約76%、約48%となっている。道路・橋梁・街路事業費全体では、約45%となっている。

- ・一般会計2部歳出(受託事業費及び特別会計繰出金を除く)
- ・区画整理事業及び都市再開発事業は都市整備局に移行

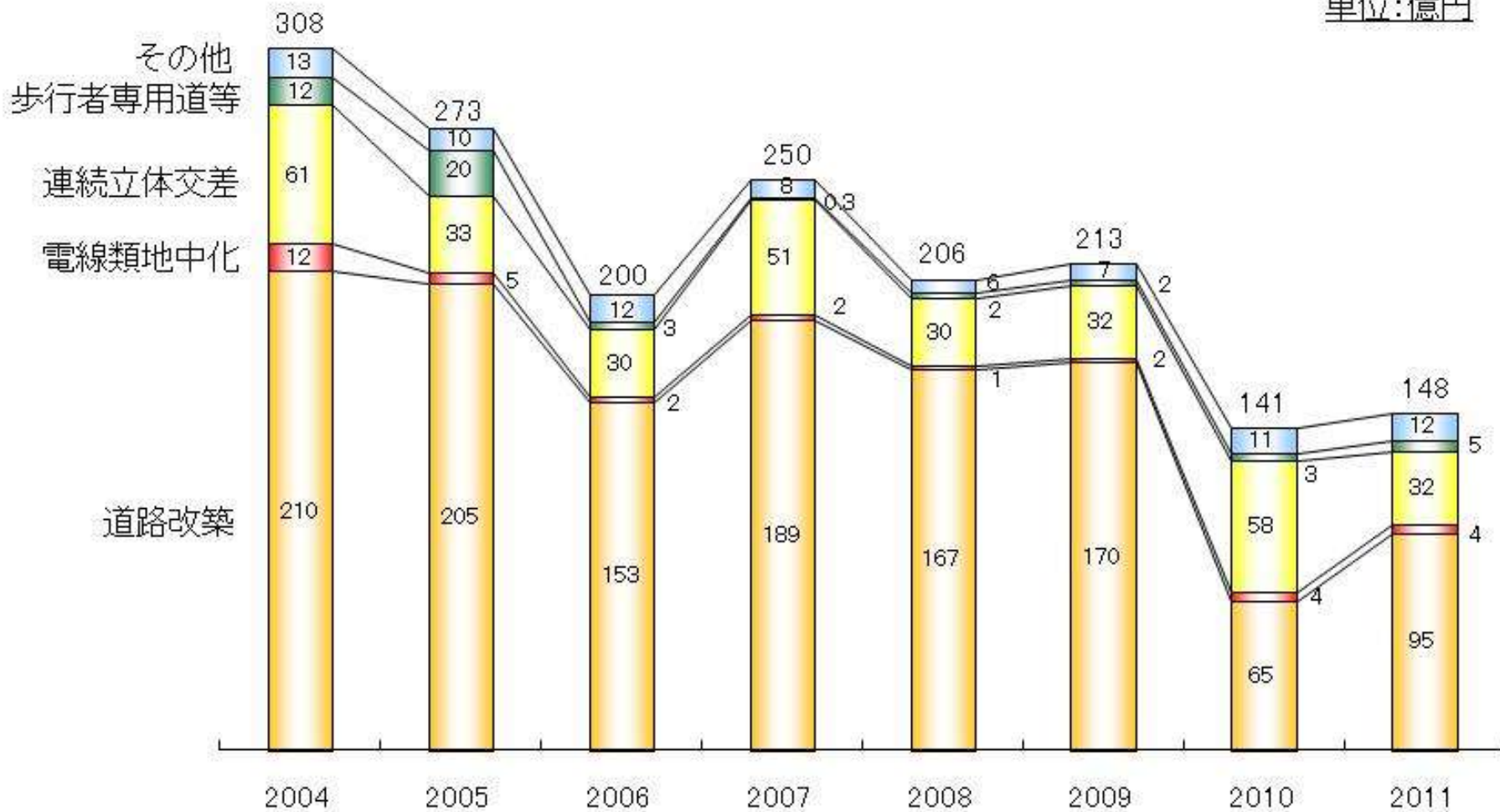


事業費の推移

④街路事業費(決算額)の推移

街路事業費の内訳を表す。このうち道路改築については、2011(H23)年度予算で95億円であり、2004(H16)度決算の約45%となっている。また、歩行者専用道等については、2011(H23)年で5億円であり、2004(H16)度決算の約42%となっている。

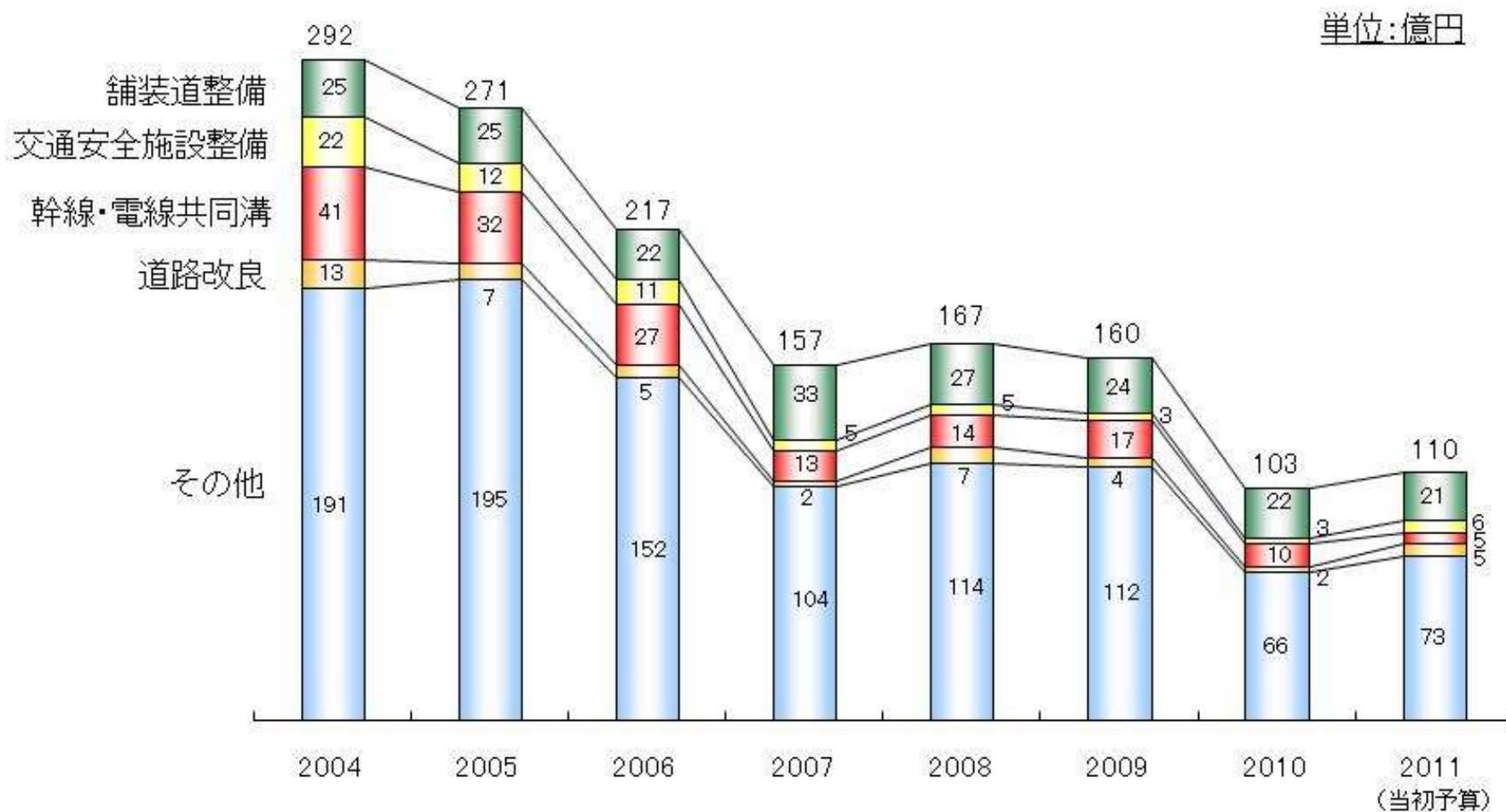
単位:億円



事業費の推移

②道路事業費(決算額)の推移

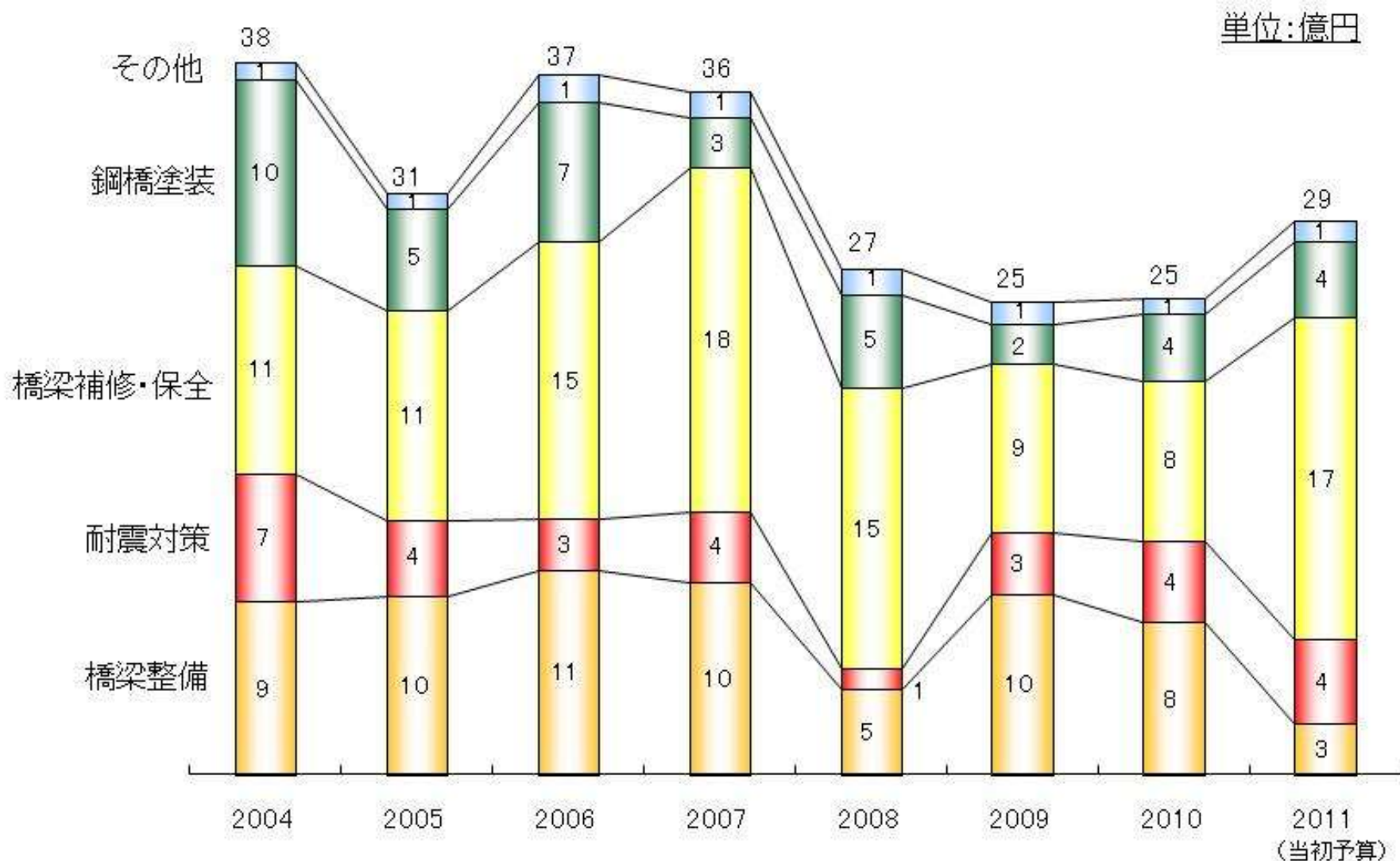
道路事業費の内訳を表す。このうち道路改良については、2011(H23)年度予算で5億円であり、2004(H16)年度決算の約38%となっている。



事業費の推移

③橋梁事業費(決算額)の推移

橋梁事業費の内訳を表す。このうち橋梁整備については、2011(H23)年度予算で3億円であり、2004(H16)年度決算の約33%となっている。



局運営方針に照らした事業の位置づけ①

建設局運営方針(平成23年度～)

<局の目標>
 ◎安全・安心で快適な市民生活、活力あふれる都市活動を支える都市空間の実現

<局の使命>
 ◎道路などの都市基盤施設ストックを適切に維持・管理し、効果的・効率的に活用する
 ◎社会的ニーズの変化等に対応した機能拡充により、都市基盤施設機能を十分に発揮

<局運営の基本方針>
 限られた予算の最大限の活用を図るため、必要性、緊急性、費用対効果の面からの**選択と集中**を行い、安全・安心な市民生活、都市活動を支えるための**都市基盤施設の適切な維持と管理、未来の大阪の持続可能な発展につながる施策・事業**を重点的に推進する。

経営課題

戦略及び主な取組み

経営課題1
 ・放置自転車、路上違反物件など、道路空間の不正使用が他都市と比較して極めて多い。
 ・街頭犯罪発生件数を減少させるため、公安委員会など関係機関と連携した全市的な防犯の取り組みが求められている。

(目標)
 自転車利用の適正化、道路不占・不正使用の適正化、地域防犯対策等に取り組み、歩行者、自転車及び自動車が安全安心、快適に利用することができる道路空間の確保を目指す。

「元気な大阪」をめざす政策推進ビジョン関連事業
 【戦略1-1 自転車利用の適正化】
 【戦略1-2 道路の不占対策、不正使用の適正化】
 【戦略1-3 地域防犯対策】

『取組1-1-1 キタ、ミナミにおける市民協働手法による放置自転車対策』
 ・広幅員歩道上での自転車駐車場の整備など

『取組1-1-4 放置自転車対策』
 (市内の鉄道駅周辺における自転車利用の適正化を図る) ・鉄道駅周辺における自転車駐車場整備など

『取組1-3-1 道路及び自転車駐車場における防犯設備の整備』
 ・地下道等の防犯設備整備
 ・立体式自転車駐車場の防犯設備整備

局運営方針に照らした事業の位置づけ②

経営課題

経営課題2
 ・環境問題への関心の高まりとともに、道路、下水道などの環境対策が必要である。
 ・水の都大阪、なにわ八百八橋といった大阪の財産が十分に活用できていないことや、来阪外国人などが増える中、まちの周遊を促進するための施設整備が対応できていない。
 ・まちの渋滞の解消、道路ネットワークの向上など、都市活動を支える都市計画道路の整備、ボトルネック踏切の解消などが長期化し、効果の発現に時間を要している。

(目標)
 環境関連施策、集客・観光都市に向けた施策、都市格の向上に向けた施策など「大阪市経済成長戦略」にあわせて推進し、「未来の大阪の持続可能な発展」に繋がる事業へと展開する。

戦略及び主な取組み

「大阪市経済成長戦略」関連事業
 【戦略2-1 環境・エネルギー】 【戦略2-2 集客・観光】
 【戦略2-3 成長戦略拠点整備】 【戦略2-4 都市格の向上】

- 『取組2-1-1 環境負荷の低減』
 (自動車交通環境対策)・低騒音舗装の整備
 (ヒートアイランド対策)・保水性舗装の整備
- 『取組2-1-6 省エネルギー』
 ・生活道路(幅員8m未満)の道路照明灯を現在の水銀灯・高圧ナトリウム灯からLED灯に改良及び増設
- 『取組2-2-1 来阪外国人等の受入環境整備事業(歩行者案内標識改良事業)』
 ・重点エリア内の歩行者案内標識改良(多言語化及びピクトグラムの導入など)
- 『取組2-2-3 観光バスの乗降場等の利便性向上事業』
 ・観光バス駐車場等での観光バスの駐停車状況調査、観光バスの駐停車に関する効果検証など
- 『取組2-2-4 水の都再生関連事業』
 (水の回廊にかかる橋梁整備)・市内橋梁の魅力PR
- 『取組2-3-1 JR東海道線支線連続立体交差事業』
- 『取組2-3-2 淀川左岸線2期整備』
- 『取組2-4-1 連続立体交差事業(阪急京都線・千里線)』
- 『取組2-4-2 都市計画道路の整備』
 (重点整備路線)事業中の都市計画道路のうち、一定期間内に事業効果が発揮できる路線を重点的に整備する。
 (完了期間宣言防災路線)地震時に大きな被害が想定される重点密集市街地の被害を軽減するため、防災環境軸の核となる路線を重点的に整備する。事業中の都市計画道路のうち、一定期間内に事業効果が発揮できる路線を重点的に整備する。

局運営方針に照らした事業の位置づけ③

経営課題	戦略及び主な取組み
<p>経営課題3 ・大阪市では、道路、橋梁、河川、下水道といった膨大な量の都市基盤施設を管理しており、かつ、古くから都市化が進んだため、都市基盤施設の高齢化が進んでいる。</p> <p>(目標) 限られた財源のもと、安全・安心な市民生活、都市活動を支える都市基盤施設の機能低下を招かないよう計画的に維持管理を実施する。</p>	<p style="text-align: center;">【戦略3-1 都市基盤施設の計画的な維持管理】</p> <p>『取組3-1-1 道路・橋梁の維持管理』 (点検) ・舗装維持管理システム及び橋梁維持管理システムに基づく定期的な舗装点検の継続 (維持管理計画) ・アンダーパス・地下道など舗装以外の道路施設の維持管理計画策定に向けた現状把握、定期点検の実施 (維持管理) ・舗装及び橋梁について管理水準を維持するための予防保全型補修の継続 ・アンダーパス・地下道など舗装以外の道路施設について、点検結果に基づく定期的な補修を進める。 (改築・更新)・橋梁保全更新計画に基づく、老朽化した橋梁の改築・更新の実施</p>
<p>・地震、台風など自然災害による都市基盤施設の被害を未然に防止する、または最小限に止めるための対策が必要。</p> <p>(目標) 災害に強い都市施設づくりを推進し、自然災害から安全・安心な市民生活、都市活動を支える都市基盤施設を守る。</p>	<p style="text-align: center;">【戦略3-2 都市基盤施設の震災対策、都市基盤施設の風水害対策】</p> <p>『取組3-2-1 道路・橋梁の耐震対策』 ・横断歩道橋の耐震対策、橋梁の耐震対策</p> <p>『取組3-2-1 共同溝の整備、無電柱化』 ・清水共同溝の整備、電線共同溝の整備</p> <p>『取組み3-2-2 治水対策』 ・城北川改修関連橋梁整備</p>

今後の街路事業について

■国土交通省の街路事業の進め方

街路事業は、国の社会資本整備総合交付金事業にて実施している。
現在の国の重点施策は、以下のとおりである。

- ・踏切除却する「連続立体交差事業」
- ・都市高速などの「地域高規格道路」
- ・完了期間を宣言した「都市計画道路」(重点整備路線)
- ・重点密集市街地の防災環境軸となる「都市計画道路」

■大阪市の街路事業

まちの渋滞の解消、道路ネットワークの向上など、都市活動を支える都市計画道路の整備、ボトルネック踏切の解消などが長期化し、効果の発現に時間を要していることから、以下のとおり整備を行っていく。

【重点整備路線、完了期間宣言防災路線】

用地取得率が高く、整備効果が早期に発現できる路線として、現在重点投資を行っている路線。平成22～24年度末までに完成・概成を図る。

地震時に大きな被害が想定される重点密集市街地の被害を軽減するため、防災環境軸の核となる路線を重点的に整備する。

【他事業関連路線、鉄道・立体交差事業関連路線】

他事業と連携して進めることが事業進捗上有利な個所や、他事業の事業進捗に合わせる必要のある路線に重点的に投資を行う

【その他路線】

積極的に買収は行わないが権利者からの買取り要望には対応。

事業中の重点整備路線が完了しだい、次の重点整備路線として路線の抽出を行う。

今後の道路・橋梁事業について

■国土交通省の道路・橋梁事業の進め方

道路・橋梁事業は、国の社会資本整備総合交付金事業にて実施している。
現在の国の重点施策は、以下のとおりである。

- ・防災対策としての「無電柱化事業」
- ・震災対策としての「橋梁の耐震化事業」
- ・適切かつ効率的な維持管理事業(舗装修繕、橋梁架替など)
- ・交通渋滞緩和のための大都市圏道路の整備 など

■大阪市の道路・橋梁事業

市民すべてが安全・安心して暮らすことのできるよう、耐震対策や都市の防災性の向上に資する事業を着実に取り組むとともに、適切な機能の維持・更新を着実に進めるために、ライフサイクルコストが最小化となるようアセットマネジメントの取組を積極的に進めている。

【道路・橋梁の維持管理】

限られた財源のもと、安全・安心な市民生活、都市活動を支える都市基盤施設の機能低下を招かないよう点検に基づく維持管理計画を策定し、計画的に維持管理を実施する。

保全更新計画に基づく、老朽化した橋梁の改築・更新の実施。

【道路・橋梁の震災対策】

災害に強い都市基盤施設づくりを推進し、自然災害から安全・安心な市民生活、都市活動を支える都市基盤施設を守るべく、橋梁・横断歩道橋の耐震対策や電線共同溝の整備による無電柱化を進める。

平成23年度 事業再評価対象事業箇所図

市街地開発

- 街路事業：7事業
- 道路事業：2事業
- 植栽事業：1事業

平成17年3月末現在



大阪府都市計画部建設課作成

事業種別	事業名称	事業箇所	事業内容
街路事業
道路事業
植栽事業